

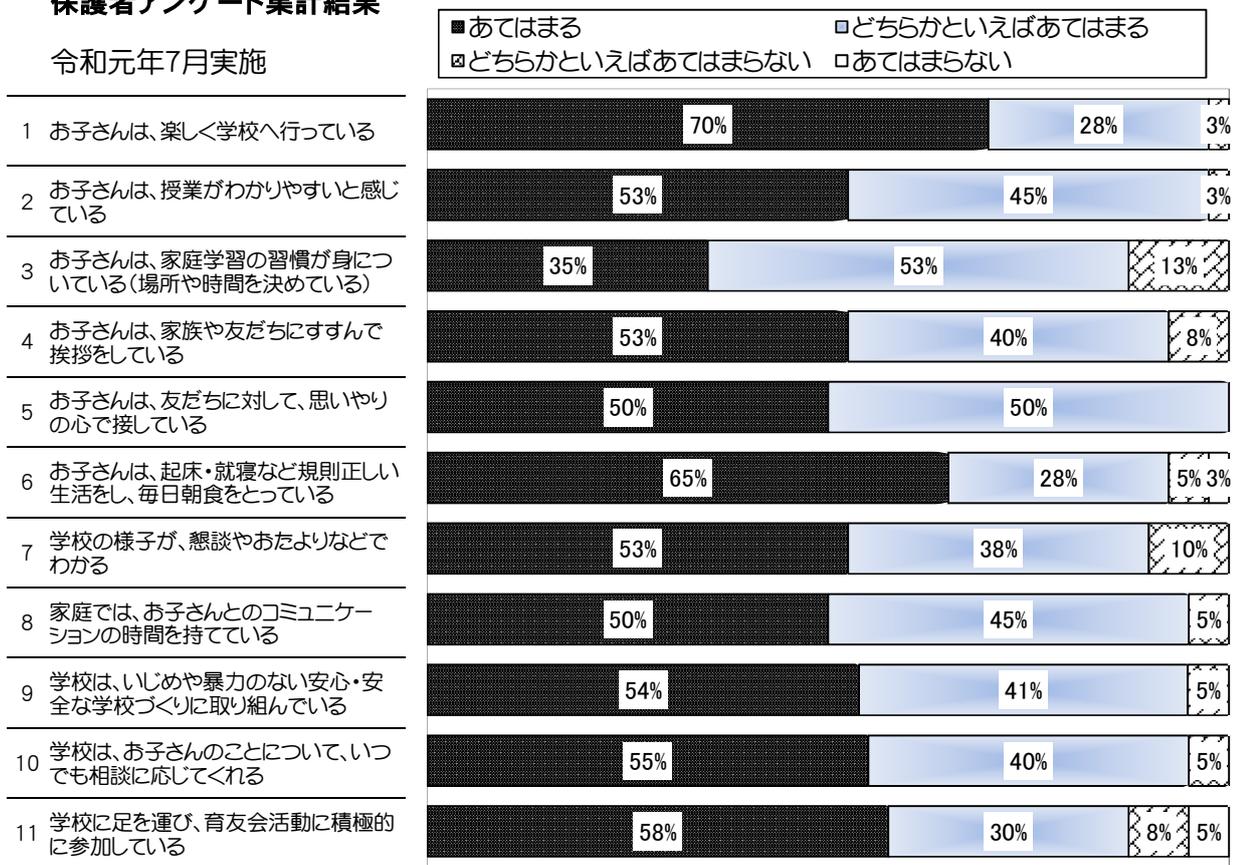
令和元年度前期アンケートの結果について（報告）

初秋の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、7月に実施した学校評価アンケートの集計が完了しましたのでお知らせいたします。アンケート結果から、反省が必要な分野も確認することができました。今後この結果を踏まえ、改善に努め、教職員一同よりよい学校づくりに向けて一層努力していきたいと考えております。

保護者アンケート集計結果

令和元年7月実施



全ての項目で高い評価をいただきました。項目3を除いて、「あてはまる」と解答する保護者が5割を超えており、項目1、6は特に高い値となっています。項目3「家庭学習」においても、昨年度と比較して数値は向上しています。今年度、家庭学習のあり方について教師、児童とも意識して取り組んでいますので、取組の成果として捉えています。2学期からも実態把握に努め、個別の対応も含めた指導をしていきます。あわせて、ご家庭の協力をお願いいたします。

児童アンケート集計結果

小学校 2019年7月実施

アンケート項目		<input type="checkbox"/> あてはまる <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあてはまらない <input type="checkbox"/> どちらかといえばあてはまる <input checked="" type="checkbox"/> あてはまらない		
1	みんなでいっしょになにかをするのはたのしい	74%	24%	2%
2	じゆぎょうは わかるまで とりくんでいる	60%	40%	0%
3	じゆぎょうでは じぶんの かんがえとともだちのかんがえとくらべながら きいている	52%	40%	7%
4	ともだちが はんのうしてくれるように はなしている「～ですね」など	60%	36%	2%
5	じぶんのかんがえを こんきよやわけをつけて はなしたり かいいたり できている	55%	38%	5%
6	まいにち かていがくしゅうを ていねいにとりくむことができている 学年×10分以上 文字や線 ならった漢字を使うなど	60%	38%	2%
7	ともだちに いじわるをしたり いやな思いにさせないようにしている	62%	29%	10%
8	ともだちみんなに やさしいところで せつしている	57%	38%	5%
9	じぶんから せんせいやともだちに「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」のあいさつをしている	83%	17%	
10	あんぜんぼうし シャツ なふだ ながいかみはむすぶ など ただしい ふくそう・みなりが できている	79%	21%	
11	はやね はやおき あさごはん NO-TNGをまもって せいかつしている	67%	29%	5%
12	たいいくや たいりょくアップのとりにくみには もくひょうを きめて すすんでからだをうごかしている	60%	29%	10%
13	せんせいは こまったりなやんだりしたときに しんけんにかいて くれたり できたときに ほめてくれたりする	57%	38%	5%

全項目で良好な結果でした。否定的な評価にチェックをつけている児童については、自己肯定感を高める取組を行うなど、改善に向けて個に応じた細かな指導を行います。

項目2から5は学校研究とも関わる内容ですが、教師アンケート以上に高評価なのは、取組が浸透されているからと考えます。一方、項目6については、児童、教師とも高評価に対して、保護者アンケートではやや数値が低く、自主・自立が確立された家庭学習になるよう改善をめざします。

項目7、8について、毎月行っている生活アンケートの結果から対処するだけでなく、日々、児童理解に努め、道徳科の学習も大切にしながら、一層安心な学校になるよう取り組んでいきます。

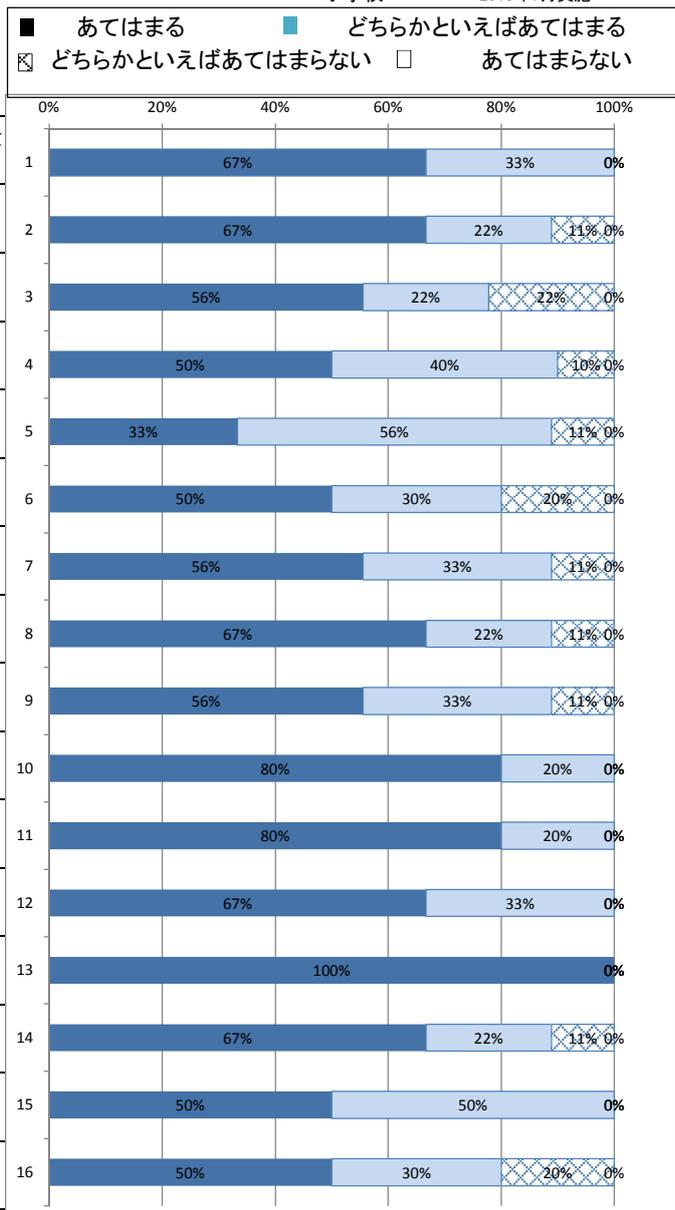
項目9から11の基本的な生活習慣については、ご家庭の協力のおかげで、概ね良好な評価となりました。2学期以降、運動会など大きな行事もありますが、生活に乱れが起きないように注意する必要があると思われます。項目12については、年々数値が下がっています。体力テストの結果をふまえながら、体力向上への意欲を高める取組を行っていきます。

教職員アンケート集計結果

小学校 2019年7月実施

アンケート項目

1	「学びの約束」を掲示し、授業のいろいろな場面で授業規律が身につくように指導している
2	授業に対話的な場面を設定し、聞く・話す力の向上を目指している
3	学んだことを文や図、グラフなどを使って、まとめたり説明したりする授業に取り組んでいる
4	授業の中で、根拠・わけをつけて書くことに取り組ませている
5	考えやまとめを三角ロジックで書かせたり、用語やキーワードで明確に示したりして指導した。
6	児童が、考えをつなぎ深める発問を行ったか
7	授業の中で深まった考えを、まとめとして書かせている
8	子どもの実態に応じた家庭学習の提示の工夫ができた
9	家庭学習の習慣が身につくように、指導している
10	「学校いじめ防止基本方針」に基づいていじめの防止と早期解消に努めている
11	悩みのある子や支援の必要な子などに対し、声かけや適切な対応をしている
12	道徳の授業を要とした道徳教育を推進することで、児童の思いやりの心が育っている
13	全ての児童が関わりを深めることができる教育活動を組織的にやっている
14	一人一人に体力がつくよう、体育の時間やその他の時間で工夫して指導している
15	働き方改革を進め、労働時間や内容を改善している
16	働き方改革を進めた結果、実際に労働時間や内容が適正になっている(月の超過労働時間45時間以内)



全ての項目で良好な評価が得られています。

項目2から7は、昨年度からの継続も含めて学校研究に関わる項目です。特に新設の項目3は、4月に行われた「全国学力・学習状況調査」「石川県基礎学力状況調査」を自校採点し、その結果、本校の児童の弱い部分であると捉え取り組んできたことです。若干数値は低いものの、意識した指導が行われている結果と捉えています。後期に向けてさらなる指導の充実を目指していきます。同様に、指導の重点である項目9、家庭学習の取組でも、児童・保護者アンケートの結果とも関連して高い評価に位置しております。今後はより主体的な取組になるよう指導を進めます。ご家庭の協力をお願いいたします。項目10から13は、概ね良好な評価でした。引き続き愛情を持って児童と関わり、豊かな感性・思いやりの心を持つ児童の育成に努めます。項目14の児童の体力面に関しては、教師、児童アンケートの結果は良好ですが、1学期に行った体力テストの結果、体力全般に課題が見られます。運動会、スキー授業等を体力向上につなげるなど対策を実践していきます。